

各都道府県バドミントン協会 御中

平成27年 2月

(公財)日本バドミントン協会

平成27年度
公認コーチ(バドミントン2級)
養成講習会受講申込みについて

日頃より本会事業に対し格別のご理解とご協力を頂き、厚くお礼申し上げます。
上記の件について、(公財)日本体育協会から別添のような文書が送達されました。つきましては貴県の受講希望者に対し、受講者本人が受講条件を考慮の上、添付の申込申請書に必要事項を記入の上、直接日バ宛 FAX(03-3481-2456)で、締切日(2月20日(金))までに申込みのように通知して下さい。

なお、日バのホームページにも手続きなど掲載いたします。

記

受講条件 ; コーチ (バドミントン2級)

日バ3級以上の公認審判員有資格者で、次の項目のいずれかに該当している者とする。

1. 上級指導員(バドミントン3級)の有資格者で、日バが認める者
2. 受講年度の4月1日現在満22歳以上で、本会が定める第1種大会でベスト32以上の競技成績を持つ者(競技成績)
3. 受講年度の4月1日現在満22歳以上で、本会が定める第1種大会ベスト32以上の競技成績を持つ選手を直接指導した実績のある者(指導実績)

※平成27年度は、上級コーチ養成講習会も実施いたします。

以 上

添付資料 ;

1. 日体協からの通知(第26回体協育成発第367号)
2. 平成27年度公認コーチ(バドミントン2級)養成講習会受講申込み(案内)
3. 平成27年度公認コーチ(バドミントン2級)養成講習会受講申込申請書

問合せ先 : 普及指導開発部 中山紀子
携帯電話 090-4005-1049

平成27年度
公認コーチ（バドミントン2級）養成講習会受講申込み（案内）

上記の件について、受講希望者は、下記の受講条件を考慮の上、至急養成講習会受講申込申請書を、日バに FAX(03-3481-2456) で、締切日 2月20日（金）までに申し込んで下さい。

受講条件

コーチ（バドミントン2級）

日バ3級以上の公認審判員有資格者で、次の項目のいずれかに該当している者とする。

1. 上級指導員（バドミントン3級）の有資格者で、日バが認める者
2. 受講年度の4月1日現在満22歳以上で、本会が定める第1種大会でベスト32以上の競技成績を持つ者（競技成績）
3. 受講年度の4月1日現在満22歳以上で、本会が定める第1種大会ベスト32以上の競技成績を持つ選手を直接指導した実績のある者（指導実績）

申込み手順

- ①受講希望者が直接日バに受講申し込み申請書をファックス(03-3481-2456)で申込む
締切日 2月20日（金）必着
- ②日バから受講希望者へ受講手引き送付
- ③受講希望者が日バへ正式申込み 締切日 3月10日（火）必着
- ④日バ承認後日バから日本体育協会へ直接提出

※申込後、住所変更等があった場合は、必ず日バにご連絡ください。

【平成27年度公認コーチ受講予定者の皆様へ】

平成27年度の公認コーチの専門科目（バドミントン）養成講習会予定

前期講習

期日：平成27年10月31日（土）～11月3日（火・祝）の4日間

会場：福島県郡山市

後期講習

期日：平成28年1月8日（金）～1月11日（月・祝）の4日間

会場：埼玉県：国立女性教育会館

* 受講者は、前期・後期とも受講しなければなりません。もし受講できない場合は、次年度に受けていただきます。

問合せ先 : 普及指導開発部 中山紀子
携帯電話 090-4005-1049

F A X 03-3481-2456

締切日：平成 27 年 2 月 20 日（金）

日本バドミントン協会 御中

平成 27 年度

公認コーチ（バドミントン 2 級） 養成講習会受講申込申請書

記入日：平成 27 年 月 日

申込み種別	コーチ（バドミントン 2 級）		
受講資格条件	* 該当するものに○印を付けてください。 1. 上級指導員 2. 競技成績 3. 指導実績		
ふりがな			
氏名			
性別	1. 男 2. 女		
生年月日	昭和 平成 年 月 日 () 歳		
所属都道府県		日バ会員登録番号	審判員資格 () 級
居住地	〒 -		
連絡先電話番号 (携帯可)			
E-mail アドレス			
勤務先			

* F A X 確認後、日バより正式な申込み書類を送付いたしますのでできるだけ早めに申請して下さい。

平成 27 年度日本体育協会公認コーチ養成講習会
開催要項

1. 目 的

地域において、競技者育成のための指導にあたるとともに、広域スポーツセンター及び各競技別トレーニング拠点において、有望な競技者の育成にあたる者を養成する。

2. 主 催

公益財団法人日本体育協会
実施中央競技団体

3. 実施競技(全31競技、36コース)

陸上競技、水泳(競泳・飛込・水球・シンクロ)、スキー、テニス、ボート、ホッケー、バレーボール、体操(体操競技・新体操)、バスケットボール、スケート、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車競技、ソフトテニス、卓球、軟式野球、馬術、柔道、ソフトボール、フェンシング、バドミントン、ライフル射撃、ラグビーフットボール(2コース)、空手道、アイスホッケー、ボウリング、ホブスレー・リュージュ・スケルトン、カーリング、ダンススポーツ

4. カリキュラム

共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ及び専門科目により構成される。

1) 共通科目について

共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ:152.5時間(集合講習及び自宅学習)

【共通科目Ⅰ:35時間】

科目名	時間数(集合/自宅)
①文化としてのスポーツ	3.75時間(0/3.75)
②指導者の役割Ⅰ	5時間(0/5)
③トレーニング論Ⅰ	3.75時間(0/3.75)
④スポーツ指導者に必要な医学的知識Ⅰ	7.5時間(0/7.5)
⑤スポーツと栄養	2.5時間(0/2.5)
⑥指導計画と安全管理	3.75時間(0/3.75)
⑦ジュニア期とスポーツ	5時間(0/5)
⑧地域におけるスポーツ振興	3.75時間(0/3.75)

【共通科目Ⅱ:35時間】

科目名	時間数(集合/自宅)
①社会の中のスポーツ	5時間(2/3)
②スポーツと法	5時間(2/3)
③スポーツの心理Ⅰ	7.5時間(3/4.5)
④スポーツ組織の運営と事業	10時間(0/10)
⑤対象に合わせたスポーツ指導	7.5時間(0/7.5)

【共通科目Ⅲ:82.5時間】

科目名	時間数(集合/自宅)
①指導者の役割Ⅱ	7.5時間(3/4.5)
②アスリートの栄養・食事	5時間(2/3)
③スポーツの心理Ⅱ	10時間(4/6)
④身体のしくみと働き	10時間(4/6)
⑤トレーニング論Ⅱ	20時間(8/12)
⑥競技者育成のための指導法	10時間(4/6)
⑦スポーツ指導者に必要な医学的知識Ⅱ	20時間(8/12)

2) 専門科目について

専門科目:60時間以上(集合講習及び自宅学習等)

5. 実施方法

1) 共通科目

- ・ 共通科目は、集合講習(座学)と自宅学習により構成されている。
- ・ 集合講習については、共通科目Ⅱの一部及び共通科目Ⅲを日本体育協会が主催し、各競技合同で実施する。また、実施時期・会場については、平成27年7月から11月にかけて、全10会場にて実施する(1会場5日間)。
- ・ 自宅学習は、集合講習会の予習及び復習、検定試験のための学習として行うものとする。集合講習会は自宅学習を行いテキスト・ワークブックの内容について理解していることを前提に行う。

2) 専門科目

- ・ 専門科目は、集合講習(座学、実技、指導実習等)と自宅学習等により構成されている。
- ・ 専門科目については、各競技別に当該中央競技団体が主催し実施する。なお、詳細については、日本体育協会と当該中央競技団体が協議して別に定める「専門科目講習会実施要領」による。
- ・ 専門科目の計画・実施については、当該中央競技団体が日本体育協会と協議し行う。

6. 受講者

1) 受講条件

受講を開始する年の4月1日現在、満20歳以上の者で、当該競技団体の定める事項に該当する者。

2) 受講者数

受講者数は、各競技40名程度とする。

7. 受講申込み

- 1) 受講申込み手続きは、全て当該中央競技団体を通じて行う。
- 2) 受講希望者は、当該中央競技団体を通じて「受講の手引き」を入手すること。
- 3) 受講希望者は、以下のいずれかの方法により申込みを行うこと。

・インターネットによる申込み

当該中央競技団体が定める期日までに、日本体育協会のインターネットサービス「指導者マイページ」内の申込みフォームに必要事項を入力し送信する。

指導者マイページ URL: <https://my.japan-sports.or.jp/login>

※指導者マイページの利用にあたりアカウント登録が必要となる。登録方法については受講の手引きを参照すること。

※申込みには競技団体の発行する「認証コード」が必要となるので、受講の手引きを入手時に当該中央競技団体に確認すること。

・所定の用紙(受講希望者個人調書)による申込み

当該中央競技団体が定める期日までに、当該中央競技団体より取り寄せた受講希望者個人調書に必要事項を記入し提出する。

- 4) 当該中央競技団体は受講希望者の情報を取りまとめ、競技団体が定める受講条件合致の有無や専門科目の免除について審査した後、本会指定の方法にて提出する。

8. 受講料

30,240 円(共通科目:19,440 円/専門科目:10,800 円)

※ 免除審査料については、別に定める。

※ 受講決定者は、上記受講料(または免除審査料)を、当該中央競技団体指定の方法により定められた期日までに納入する。

※ 当該中央競技団体は、受講料を取りまとめ、日本体育協会に納入する。なお、本会入金後の受講料の返金は受付けない。

9. 受講者の決定

- 1) 日本体育協会指導者育成専門委員会にて、当該中央競技団体から提出された申込み内容に基づき、審査の上受講者を決定し、当該競技団体及び本人宛に通知する。
- 2) 受講決定者は、当該中央競技団体指定の方法により定められた期日までに受講料を納入する。
- 3) 当該中央競技団体は、日本体育協会指定の方法により、受講決定者より受領した受講料を定められた期日までに納入する。
- 4) 受講料の納入が確認された受講決定者には、テキスト等を送付する。
- 5) 受講決定者は、原則として受講有効期限内(受講開始年度を含め4年間)に共通科目と専門科目の全てを修了しなければならない。なお、受講有効期限内にカリキュラムの全てを修了しない場合は、その時点で受講者としての権利をすべて喪失するが、専門科目講習会が有効期限内に実施されない場合はこの限りではない。

6)受講決定者の内、受講者としてふさわしくない行為があったと認められた時は、日本体育協会及び当該中央競技団体において協議し受講を取り消す場合がある。

10. 講習・試験の免除

既取得資格及び本会免除適応コースの修了等により、講習・試験の一部または全部を免除することができる。免除に関する詳細は、別に定める。

11. 検定・審査

講習に基づく検定・審査は、共通科目と専門科目に区分して実施する。

- 1)共通科目における検定は、筆記試験による判定とし、日本体育協会において審査する。
- 2)専門科目における検定は、技能検定を主体に筆記試験等を加えた総合判定とし、当該中央競技団体の専門科目検定委員会(部会)において審査する。
- 3)共通科目及び専門科目の検定に合格した者を、「公認コーチ養成講習会修了者」と認める。
- 4)免除措置適用者における検定については、別に定める。

12. 登録及び認定

- 1)共通科目及び専門科目の検定に合格した後、日本体育協会からの案内に基づき登録手続き(登録内容の確認および登録料の納入)を完了した者に、日本体育協会公認コーチ「認定証」及び「登録証」を交付する。
- 2)資格の有効期限は4年間とし、4年毎に更新する。なお、本資格を更新しようとする者は、資格有効期限の6か月前までに、日本体育協会または当該中央競技団体の定める研修を受けなければならない(競技により更新のために必要な研修要件が異なるため、当該中央競技団体へ確認すること)。
- 3)登録料については、下記のとおりとなる。
 - ・初年度の登録料 13,000円
 - 【基本登録料10,000円+初期登録手数料3,000円】(4年間)
 - ・4年後の更新時の登録料 10,000円【基本登録料10,000円】(4年間)
 - ※ 上記以外に、資格別(競技団体)登録料が別途定められている場合がある。
 - ※ 既に他の本会公認スポーツ指導者資格を保有している者は、その有効期限に応じて資格別登録料が変動する。

13. 特記事項

- 1)講習会受講に際し取得した個人情報、日本体育協会及び当該中央競技団体が養成講習会関係資料の送付及びコーチ養成関係事業を実施する際に利用し、これ以外の目的に個人情報を使用する際は、その旨を明示し了解を得るものとする。
- 2)本講習会の受講有効期限内に、他の本会公認資格の受講はできない。また、他の本会公認資格を受講中の場合も受講申込みはできない。

14. 問合せ先

公益財団法人日本体育協会 スポーツ指導者育成部

〒150-8050 東京都渋谷区神南 1-1-1

TEL:03-3481-2226 FAX:03-3481-2284

【問合せ時間】平日 9:30～17:30(12:00～13:00 を除く)